

第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会 第2回総会

日時：令和6年3月19日(火) 15:30~16:30

場所：ANAクラウンプラザホテル松山 4階
ダイヤモンドボールルーム

次 第

1 開会

2 挨拶

3 報告事項

- (1) 令和5年度取組状況及び収支決算見込みについて 【資料1】
- (2) 第76回全国植樹祭基本計画の策定について 【資料2-1~2-2】

4 審議事項

- 【第1号議案】 お手植え・お手播き樹種等(案)について 【資料3】
- 【第2号議案】 大会テーマ(案)について 【資料4】
- 【第3号議案】 シンボルマーク(案)について 【資料5】
- 【第4号議案】 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 【資料6】
- 【第5号議案】 専門委員会の設置及び付託事項(案)について 【資料7】

5 その他

- 今後の予定について 【資料8】

<配布資料>

- ・ 出席者名簿
- ・ 配席図
- ・ 【資料1】 令和5年度取組状況及び収支決算見込みについて
- ・ 【資料2-1】 第76回全国植樹祭各種計画の策定について
- ・ 【資料2-2】 第76回全国植樹祭基本計画(素案)
- ・ 【資料3】 【第1号議案】 お手植え・お手播き樹種等(案)について
- ・ 【資料4】 【第2号議案】 大会テーマ(案)について
- ・ 【資料5】 【第3号議案】 シンボルマーク(案)について
- ・ 【資料6】 【第4号議案】 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- ・ 【資料7】 【第5号議案】 専門委員会の設置及び付託事項(案)について
- ・ 【資料8】 第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会(総会)の開催スケジュールについて

第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会 第2回総会 出席者名簿

日時：令和6年3月19日（火）15：30～16：30

場所：ANAクラウンプラザホテル松山
ダイヤモンドボールホール

(敬称略)

番号	職名	機関・団体	役職	氏名	出欠状況			代理の場合のみ記載		座席番号
					出席	欠席	代理	代理者役職	代理者氏名	
1	会長	愛媛県	知事	中村 時広	○					-
2	副会長	愛媛県	副知事	田中 英樹	○					-
3	副会長	愛媛県	副知事	濱里 要	○					-
4	副会長	愛媛県議会	議長	三宅 浩正	○					-
5	委員	林野庁四国森林管理局	局長	竹内 純一			○	愛媛森林管理署署長	藤平 康則	A-7
6	委員	環境省中国四国地方環境事務所	所長	坂口 芳輝			○	自然保護官	中山 良太	A-8
7	委員	国土交通省四国地方整備局	局長	佐々木 淑充			○	松山河川国道事務所 長	菊地 志郎	A-9
8	委員	愛媛県議会農林水産委員会	委員長	帽子 大輔	○					A-10
9	委員	愛媛県市長会	会長	武智 邦典	○					A-6
10	委員	愛媛県町村会	会長	河野 忠康	○					A-5
11	委員	松山市	市長	野志 克仁			○	副市長	松原 剛史	A-4
12	委員	砥部町	町長	佐川 秀紀			○	副町長	岡田 洋志	A-3
13	委員	愛媛県市議会議長会	会長	渡部 克彦	○					A-2
14	委員	愛媛県町村議会議長会	会長	三谷 喜好	○					A-1
15	委員	愛媛大学	副学長	杉森 正敏		○				B-2
16	委員	松山大学	准教授	甲斐 朋香	○					B-3
17	委員	(公財)愛媛の森林基金	理事長	末永 洋一			○	書記	渡部 正義	B-6
18	委員	愛媛県森林組合連合会	会長職務代行者代表理事専務	芝 芳亀			○	顧問理事	俊野 忠彦	B-7
19	委員	(一社)愛媛県木材協会	会長	菊池 正	○					B-8
20	委員	愛媛県山林種苗農業協同組合	代表理事組合長	成瀬 要三	○					B-9
21	委員	愛媛県林業研究グループ連絡協議会	会長	菊池 俊一郎	○					B-10
22	委員	愛媛県森林土木協会	会長	兵頭 誠亀	○					B-11
23	委員	(公財)えひめ農林漁業振興機構	理事長	兵頭 昭洋	○					B-12
24	委員	えひめ森林ボランティア連絡協議会	会長	笠松 浩樹		○				B-13
25	委員	緑の少年団愛媛県連盟	会長	山本 浅幸	○					B-14
26	委員	愛媛県林業経営者協会	会長	増田 清	○					B-15
27	委員	愛媛県農業協同組合中央会	代表理事会長	西本 満俊			○	総合企画部次長	野本 学	B-4
28	委員	愛媛県漁業協同組合	代表理事組合長	平井 義則			○	常務理事	生名 裕二	B-5
29	委員	愛媛県商工会議所連合会	会頭	高橋 祐二			○	専務理事	福井 琴樹	C-6
30	委員	愛媛県商工会連合会	会長	村上 友則	○					C-7
31	委員	愛媛県中小企業団体中央会	会長	服部 正			○	専務理事	馬越 史朗	C-8
32	委員	愛媛経済同友会	代表幹事	野本 政孝	○					C-9
33	委員	愛媛経済同友会	代表幹事	山口 普		○				-
34	委員	愛媛県経営者協会	会長	田中 和彦			○	専務理事	八塚 洋	C-10
35	委員	愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合	理事長	大木 正治	○					C-2
36	委員	愛媛ホテル協会	会長	河野 治広	○					C-3
37	委員	(一社)愛媛県観光物産協会	会長	中村 時広			○	専務理事	金子 浩一	C-4
38	委員	(一社)愛媛県旅行業協会	会長	清水 一郎			○	事務局長	坂田 明則	C-5
39	委員	(一社)愛媛県バス協会	会長	清水 一郎			○	専務理事	松本 真一	C-13
40	委員	四国旅客鉄道(株)	愛媛企画部長	窪 仁志		○				C-11
41	委員	伊予鉄道(株)	代表取締役社長	清水 一郎			○	常務取締役	毛利 圭蔵	C-12
42	委員	(一社)愛媛県ハイヤー・タクシー協会	会長	渡部 光男			○	専務理事	谷口 政賀津	C-14
43	委員	(一社)愛媛県トラック協会	会長	御手洗 安	○					C-15
44	委員	(一社)愛媛県建設業協会	会長	井原 伸		○				D-11
45	委員	(公社)愛媛県建築士会	会長	尾藤 淳一			○	常務理事事務局長	池内 誠喜	D-12

第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会 第2回総会 出席者名簿

日時：令和6年3月19日（火）15：30～16：30
場所：ANAクラウンプラザホテル松山
ダイヤモンドボールホール

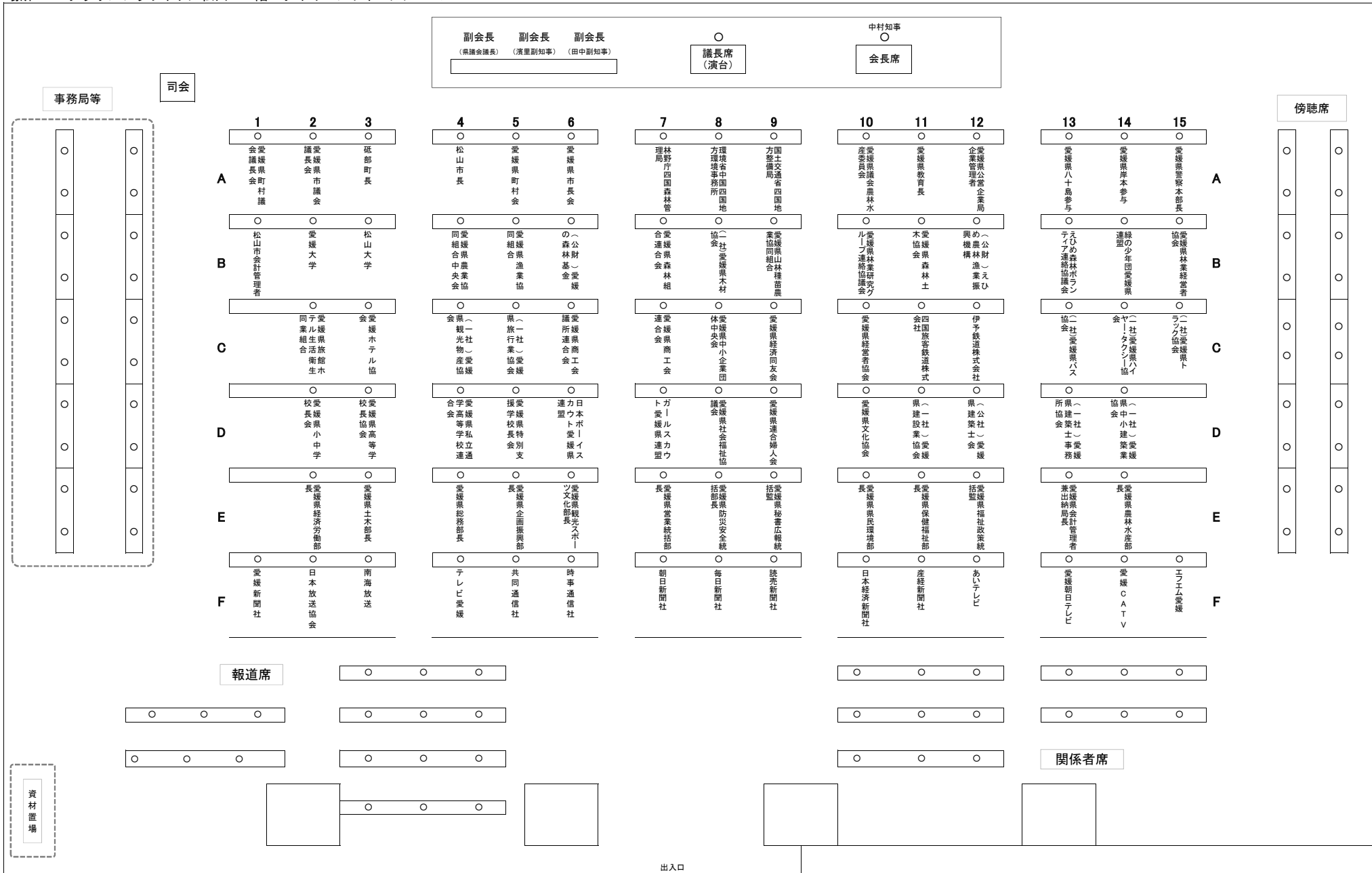
(敬称略)

番号	職名	機関・団体	役職	氏名	出欠状況			代理の場合のみ記載		座席番号
					出席	欠席	代理	代理者役職	代理者氏名	
46	委員	(一社)愛媛県建築士事務所協会	会長	林 貞義	○					D-13
47	委員	(一社)愛媛県中小建築業協会	会長	佐々木 敬史			○	参与	西岡 弘司	D-14
48	委員	愛媛県小中学校長会	会長	馬越 吉章		○				D-2
49	委員	愛媛県高等学校長協会	会長	池田 哲也		○				D-3
50	委員	愛媛県私立中学高等学校連合会	会長	中村 道郎			○	事務局長	片山 明善	D-4
51	委員	愛媛県特別支援学校長会	会長	稲荷 邦仁		○				D-5
52	委員	日本ボーイスカウト愛媛県連盟	連盟長	宮内 正民			○	理事長	龍田 純孝	D-6
53	委員	ガールスカウト愛媛県連盟	連盟長	村上 ゆかり	○					D-7
54	委員	愛媛県文化協会	会長	市村 公子	○					D-10
55	委員	(福)愛媛県社会福祉協議会	会長	本田 元広	○					D-8
56	委員	愛媛県連合婦人会	会長	三好 康子		○				D-9
57	委員	愛媛県	教育長	田所 竜二	○					A-11
58	委員	愛媛県	公営企業管理者	山口 真司	○					A-12
59	委員	愛媛県	参与(営業本部長)	八十島 一幸	○					A-13
60	委員	愛媛県	参与	岸本 憲彦	○					A-14
61	委員	愛媛県	営業統括部長	久保 圭一朗	○					E-7
62	委員	愛媛県	防災安全統括部長	井上 敬之			○	防災局長	山下 憲治	E-8
63	委員	愛媛県	秘書広報統括監	居村 大作	○					E-9
64	委員	愛媛県	総務部長	菅 規行	○					E-4
65	委員	愛媛県	企画振興部長	赤坂 克洋	○					E-5
66	委員	愛媛県	観光スポーツ文化部長	高岡 哲也	○					E-6
67	委員	愛媛県	県環境部長	池田 貴子	○					E-10
68	委員	愛媛県	保健福祉部長	菅 隆章	○					E-11
69	委員	愛媛県	福祉政策統括監	久保田 晶	○					E-12
70	委員	愛媛県	経済労働部長	松田 雄彦			○	産業雇用局長	吉田 孝	E-2
71	委員	愛媛県	農林水産部長	末永 洋一	○					E-14
72	委員	愛媛県	土木部長	中川 逸朗	○					E-3
73	委員	愛媛県警察本部	本部長	山浦 親一			○	警備部長	松本 亨	A-15
74	監事	愛媛県	会計管理者兼出納局長	山名 富士	○					E-13
75	監事	松山市	会計管理者	加藤 和正	○					B-1
76	参与	(株)愛媛新聞社	代表取締役社長	土居 英雄	○					F-1
77	参与	日本放送協会	松山放送局長	桑野 毅	○					F-2
78	参与	南海放送(株)	代表取締役社長	大西 康司	○					F-3
79	参与	(株)テレビ愛媛	代表取締役社長	尾谷 牧夫	○					F-4
80	参与	(一社)共同通信社	松山支局長	小西 大輔	○					F-5
81	参与	(株)時事通信社	松山支局長	寺尾 貴之		○				F-6
82	参与	(株)朝日新聞社	松山総局長	広島 敦史	○					F-7
83	参与	(株)毎日新聞社	松山支局長	太田 裕之		○				F-8
84	参与	(株)読売新聞大阪本社	松山支局長	原 典子	○					F-9
85	参与	(株)日本経済新聞社	松山支局長	平片 均也		○				F-10
86	参与	(株)産経新聞社	松山支局長	前川 康二		○				F-11
87	参与	(株)あいテレビ	代表取締役社長	左納 和宜	○					F-12
88	参与	(株)愛媛朝日テレビ	代表取締役社長	井上 隆史	○					F-13
89	参与	(株)愛媛CATV	代表取締役社長	宮内 隆	○					F-14
90	参与	(株)エフエム愛媛	代表取締役社長	倉淵 秀俊	○					F-15

第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会 第2回総会 配席図

日時：令和6年3月19日（火）

場所：ANAクラウンプラザホテル松山 4階 ダイアモンドボールルーム



令和5年度取組状況及び収支決算見込みについて

1 令和5年度の取組状況

(1) 国土緑化推進機構との調整

① 開催県決定

- ・ 決定日 令和5年8月8日（火）
- ・ 内 容 国土緑化推進機構において、令和8年（2026年）春季の第76回全国植樹祭を愛媛県で開催することが正式に決定



開催県決定のPR（令和5年8月8日（火曜日））



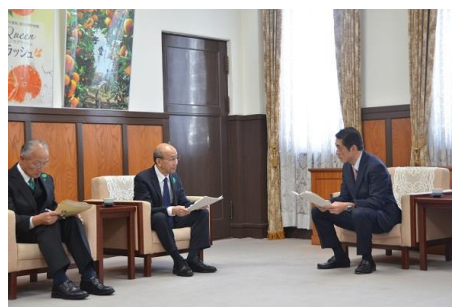
定例記者会見（令和5年8月10日（木曜日））

② 開催地決定（式典会場候補地の現地調査、決定協議、共同記者会見）

- ・ 決定日 令和5年11月27日（月）～11月28日（火）
- ・ 内 容 国土緑化推進機構による式典会場候補地の現地調査及び同機構と県との協議により、式典会場を「とべもり+（プラス）」の「愛媛県総合運動公園（松山市）」に決定し、共同記者会見により発表
また、荒天時の式典会場を「愛媛県武道館（松山市）」に決定



現地調査（令和5年11月27日（月曜日））



会場決定協議（令和5年11月28日（火曜日））



共同記者会見（令和5年11月28日（火曜日））



記念写真撮影（令和5年11月28日（火曜日））

(2) 会議の開催

① 総会

実行委員会設立総会（第1回総会）の開催

- ・開催日 令和5年8月25日（金）
- ・場 所 ANA クラウンプラザホテル松山 ダイヤモンドボールルーム
- ・内 容 第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会の設立について
【第1号議案】令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
【第2号議案】専門委員会の設置及び付託事項（案）について



設立総会の様子



記念写真撮影

② 幹事会

第1回幹事会の開催

- ・開催日 令和6年2月20日（火）
- ・場 所 リジェール松山 クリスタルホール
- ・内 容 第2回総会（3/19）に付議する事項の事前審議

③ 専門委員会

ア 大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会

○ 付託事項

全国植樹祭のテーマ、シンボルマーク及びポスター原画の公募選考に関すること。

○ 会議の開催

第1回会議 令和5年10月24日（火）

- 議 事 ・大会テーマ募集に係る募集要領（案）及び審査要領（案）について
・シンボルマーク募集に係る募集要領（案）及び審査要領（案）について

第2回会議 令和6年2月28日（水）

- 議 事 ・大会テーマ及びシンボルマークに係る審査会
・大会テーマ及びシンボルマークに係る入賞作品候補の選定について

○ 審議結果

大会テーマ

全国から応募のあった2,072件の中から専門委員会において、最優秀賞候補（大会テーマ候補）1点、優秀賞候補3点を選定した。

シンボルマーク

全国から応募のあった492件の中から専門委員会において、最優秀賞候補（シンボルマーク候補）1点、優秀賞候補3点を選定した。

イ 植樹専門委員会

○ 付託事項

全国植樹祭における植樹及びお手播き等の樹種候補の検討に関すること。

○ 会議の開催

第1回会議 令和5年11月9日（木）

- 議 事 ・ 植樹樹種選定方針（案）について
・ 植樹樹種選定要領（案）について
・ 植樹樹種選定に関する意見交換

第2回会議 令和6年1月26日（金）

- 議 事 ・ お手植え・お手播きの樹種選定について
・ 一般招待者植樹の樹種選定について



植樹専門委員会の様子

○ 審議結果

- ・ 天皇皇后両陛下 お手植え樹種各3種、お手播き樹種各2種 計10種を選定
- ・ 一般招待者記念植樹の樹種 21種を選定

ウ 式典専門委員会

○ 付託事項

式典行事に係る演出・内容等の検討に関すること。

○ 会議の開催

第1回会議 令和6年3月6日（水）

- 議 事 ・ 先催県の式典演出について
・ 式典行事の演出構成（案）について

(3) 基本計画の策定

① 基本計画作成業務に係る委託業者の選定

行幸啓行事の経験等を有する事業者を対象に公募型プロポーザルにより、企画案を募集した結果、2者から応募があり、審査会で選考した結果、「第76回全国植樹祭推進共同企業体」に決定した。

- 募集期間 令和5年10月11日（水）～令和5年11月6日（月）
- 審査会 令和5年11月20日（月）
- 選定事業者 第76回全国植樹祭推進共同企業体
（構成員） (株)電通西日本松山支社、(株)愛媛新聞社、(株)南海放送、(株)電通ライブ

② 基本計画の検討

基本構想に基づき、開催概要や式典行事計画、植樹行事計画等の基本的事項を定めた基本計画を策定中である。

令和5年度は第2回総会において、基本計画（素案）を報告

(4) 機運醸成活動の推進

① 苗木のスクールステイの実施

県内の小中学生等が、全国植樹祭の植樹行事等で使用する苗木を育成することにより、森林の整備や森林資源の循環利用への意識向上を図るとともに、全国植樹祭の開催に向けた機運を醸成することを目的に実施

- 参加団体募集期間 令和6年2月29日（木）～令和6年4月15日（月）
- 事業内容 全国植樹祭の植樹行事等に使用する苗木の育成体験

② 広報活動の実施

ア 木育キャラバン in イオンモール今治新都市でのPR

- ・開催日 令和5年12月16日（土）
- ・場 所 イオンモール今治新都市（今治市）
- ・内 容 イオンモール今治新都市で開催された東京おもちゃ美術館の木育キャラバンにブースを設けて全国植樹祭をPR



木育キャラバンの様子



全国植樹祭PR

イ 木製懸垂幕・のぼり旗の設置

全国植樹祭開催をPRするため、県産ヒノキを活用した懸垂幕やのぼり旗を県施設等に設置し、来庁者や県民等に広く周知



木製懸垂幕 1



木製懸垂幕 2



えひめ森林公園 管理棟

ウ 公式ホームページの開設

全国植樹祭に係る情報を全国に向けて広く発信予定（3月末公開）



HP デザインイメージ①



HP デザインイメージ②

2 収支決算（見込み）

(1) 収入の部

（単位：千円）

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (A) - (B)	摘要
負担金	13,118	13,118	0	愛媛県負担金
合計	13,118	13,118	0	

(2) 支出の部

（単位：千円）

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (A) - (B)	摘要
1 総務費	2,545	2,269	276	実行委員会、幹事会、専門 委員会開催経費等
2 開催事業費	6,145	5,268	877	基本計画作成業務委託等
3 広報啓発費	4,428	4,369	59	苗木のスクールステイ用資 材、PR用グッズ購入費等
合計	13,118	11,906	1,212	

※差額 1,212 千円は令和 6 年度に繰り越し

第 76 回全国植樹祭に係る各種計画の策定について

1 概要

第 76 回全国植樹祭の開催目的を達成するため、開催概要や式典行事計画、植樹行事計画等を盛り込んだ基本計画及び実施計画を策定する予定である。

このうち基本計画は、各種項目の基本的事項を定めるものであり、令和 5 年度から令和 6 年度の 2 か年にかけて策定を行う。

2 策定までのスケジュール

① 基本構想（令和 5 年 3 月策定）

基本構想
（令和 4 年度）

② 基本計画（素案） [令和 6 年 3 月 第 2 回総会] 【今回】

③ 基本計画（中間案） [令和 6 年 7 月 第 3 回総会]

④ 基本計画（最終案） [令和 7 年 1 月 第 4 回総会]

「国土緑化推進機構 特別委員会」において承認・決定（予定）[令和 7 年 2 月頃]
⇒ 基本計画決定

基本計画
（令和 5 年度～令和 6 年度）

⑤ 実施計画（素案） [令和 7 年 6 月 第 6 回総会]

⑥ 実施計画（最終案） [令和 8 年 1 月 第 7 回総会]

「国土緑化推進機構 特別委員会」において承認・決定（予定）[令和 8 年 2 月頃]
⇒ 実施計画決定

実施計画
（令和 6 年度～令和 7 年度）

第 76 回全国植樹祭 開催（令和 8 年春季）

※朱書き箇所:今回審議事項

第1章 開催概要

- | | | |
|-------------------|-------------|-----------------|
| 1. 開催意義 | 2. 開催理念 | 3. 大会テーマ |
| 4. シンボルマーク | 5. 大会ポスター原画 | 6. 開催時期 |
| 7. 主催 | 8. 開催規模 | 9. 開催会場 |

第2章 式典行事計画

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1. 基本的な考え方 | 2. 式典演出計画 | 3. 式典運営計画 |
| 4. 式典進行計画 | | |

第3章 植樹行事計画

- | | | |
|--------------|---------------------|------------------|
| 1. 基本的な考え方 | 2. お手植え計画 | 3. お手播き計画 |
| 4. 代表者記念植樹計画 | 5. 招待者記念植樹計画 | |

第4章 会場整備計画

- | | | |
|------------|-----------|------------------|
| 1. 基本的な考え方 | 2. 施設配置計画 | 3. 主要施設計画 |
| 4. 案内・誘導計画 | 5. 飾花計画 | 6. 電気・給排水・通信設備計画 |

第5章 運営計画

- | | | |
|------------|----------------|-----------------|
| 1. 基本的な考え方 | 2. 招待計画 | 3. 招待者行動計画 |
| 4. 受付計画 | 5. 特別接伴計画 | 6. レセプション計画 |
| 7. 会場内導線計画 | 8. 会場おもてなし計画 | 9. 昼食計画 |
| 10. 湯茶接待計画 | 11. 医療・衛生計画 | 12. 消防・防災・警備計画 |
| 13. 実施本部計画 | 14. 研修・リハーサル計画 | 15. 雨天時・強風時対応計画 |

第6章 宿泊・輸送計画

- | | | |
|-----------------|-----------|---------|
| 1. 基本的な考え方 | 2. 宿泊計画 | 3. 輸送計画 |
| 4. 運行管理体制・緊急時対応 | 5. 道路交通対策 | |

第7章 荒天時式典計画

- | | | |
|------------|----------|---------|
| 1. 基本的な考え方 | 2. 荒天時会場 | 3. 開催規模 |
| 4. 荒天時運営計画 | | |

第8章 記念事業・関連事業計画

- | | | |
|------------|---------|---------|
| 1. 基本的な考え方 | 2. 記念事業 | 3. 関連事業 |
|------------|---------|---------|

第9章 広報・協賛計画

- | | | |
|------------|---------|---------|
| 1. 基本的な考え方 | 2. 広報計画 | 3. 協賛計画 |
|------------|---------|---------|

項目

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| 1. 開催意義 | 2. 開催理念 | 3. 大会テーマ |
| 4. シンボルマーク | 5. 大会ポスター原画 | 6. 開催時期 |
| 7. 主催 | 8. 開催規模 | 9. 開催会場 |

1. 開催意義

愛媛県は、霊峰石鎚山を頂点とする四国山地と多島美を誇る瀬戸内海、リアス式海岸を擁する宇和海など、美しく豊かな自然と穏やかな気候に恵まれ、その林業に適した環境は、良質な木材を育ててきました。

また、戦後の荒廃した国土の緑化と復興資材を供給するため、先人達が積極的に植林に取り組んできた結果、森林が県土の7割を占め、その6割がスギやヒノキなどの人工林となっており、豊富な森林資源を背景として、県内の林業や木材産業は大きく発展し、全国有数の林業・林産県へと成長しました。

現在、スギやヒノキなどの人工林資源は充実し、これら豊富な森林資源を健全な姿で次世代に引き継ぐため、愛媛県では、県民参加の森づくりを推進する「愛媛県森林環境税」の創設や、森林資源の循環利用と関連産業の競争力強化を目指す「林業躍進プロジェクト」を立ち上げるなど、様々な施策を展開しているところです。

こうした中、令和8年(2026年)に、第76回全国植樹祭が愛媛県で開催されます。本県での開催は、昭和41年(1966年)以来、60年ぶり2回目となり、全国植樹祭を契機として、森林の整備や木材利用に対する県民の理解が一層深まり、SDGsの達成にもつながると期待しています。

第76回全国植樹祭の開催を通じて、本県の魅力を全国に発信する絶好の機会とし、愛媛県ならではの特色ある有意義な大会にしていきます。

2. 開催理念

- ① 国民の森林・林業に対する理解を深め、森林の整備や森林資源の循環利用を一層推進していく契機とし、持続可能な社会の実現につなげていきます。
- ② 霊峰石鎚山を頂点とする四国山地の豊かな森林を、健全な姿で次の世代にしっかりと引き継げるよう、県民参加による森づくりを推進します。
- ③ 森林が育む愛媛の自然や文化、産業を県内外に発信し、全国の方々との「絆」を深める「愛顔(えがお)」あふれる大会とします。

3. 大会テーマ

今回審議事項

全国から応募のあった2,072点の中から選定

4. シンボルマーク

今回審議事項

全国から応募のあった492点の中から選定

5. 大会ポスター原画

愛媛県内の小中学校、高等学校等の児童・生徒から応募があった作品の中から選定

6. 開催時期

令和8年(2026年)春季

7. 主催

公益社団法人国土緑化推進機構

愛媛県

8. 開催規模

県内外から参加する招待者、実施本部員・協力員等を含め、5,000人程度の規模で開催します。ただし、荒天時は規模を縮小します。

9. 開催会場

(1) 式典会場

式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き行事を実施します。また、各種展示PR等を行うおもてなし広場を設置し、招待者を歓迎します。

■ 愛媛県総合運動公園(松山市上野町)

愛媛県総合運動公園は、松山市と砥部町の市町境にある通谷池周辺の丘陵地に整備された運動公園で、陸上競技場や球技場、体育館などを備えています。

また、隣接する「とべ動物園」「えひめこどもの城」「えひめ森林公園」を含めて、「とべもり+(プラス)」と称して、SDGs関連イベントを充実させており、同エリアでは2030年度にゼロカーボンを目指す「ゼロカーボン夢プロジェクト」にも取り組んでいます。



(2) 植樹会場

県内外の参加者が記念植樹を行う植樹会場として、式典会場内や近隣地をはじめ、県内各地への設置を検討します。

(3) サテライト会場

より多くの県民と開催理念を共有し、全国植樹祭の開催効果を高めるため、サテライト会場を県内に設置します。サテライト会場では式典の様態を中継するほか、各種のPR展示を行います。

第3章 植樹行事計画

項目

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1. 基本的な考え方 | 2. お手植え計画 | 3. お手播き計画 |
| 4. 代表者記念植樹計画 | 5. 招待者記念植樹計画 | |

2. お手植え計画

今回審議事項

- 天皇陛下お手植え樹種(3種)
- 皇后陛下お手植え樹種(3種)

3. お手播き計画

今回審議事項

- 天皇陛下お手播き樹種(2種)
- 皇后陛下お手播き樹種(2種)

5. 招待者記念植樹計画

今回審議事項

- 招待者記念植樹樹種

【第1号議案】

お手植え・お手播き樹種等（案）について

1 概要

有識者による「第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会植樹専門委員会」を設置し、委員の協議により候補樹種を選定した。

2 選定経過

(1) 植樹専門委員会 委員（9名）

職名	所属機関・団体	役職	氏名
委員長	松山東雲短期大学	名誉教授	松井 宏光
委員	愛媛大学	准教授	鍋嶋 絵里
	林野庁四国森林管理局愛媛森林管理署	森林技術指導官	川村 之二
	愛媛県森林組合連合会	事業部長	福住 隆雄
	一般社団法人愛媛県木材協会	事業課長	余吾 初徳
	愛媛県山林種苗農業協同組合	専務理事	野口 満晴
	公益財団法人愛媛の森林基金	事務局長	俊成 秀樹
	愛媛県農林水産部森林局	局長	西田 伸生
	愛媛県農林水産部農政企画局 農林水産研究所林業研究センター	センター長	鈴木 教幸

(2) 専門委員会の開催

第1回植樹専門委員会

- ・開催日 令和5年11月9日（木）
- ・場 所 愛媛県水産会館 研修室
- ・内 容 植樹樹種選定方針（案）について 等

第2回植樹専門委員会

- ・開催日 令和6年1月26日（金）
- ・場 所 愛媛県林業会館 大ホール
- ・内 容 お手植え・お手播き樹種の選定について 等

(3) 選定結果

お手植え樹種：6種（天皇陛下：3種、皇后陛下：3種）

お手播き樹種：4種（天皇陛下：2種、皇后陛下：2種）



区分	天皇陛下	皇后陛下
お手植え	スギ（無花粉）	ヒノキ
	クスノキ	タチバナ
	クヌギ	トキワバイカツツジ
お手播き	クロマツ	ヤブツバキ
	ツブラジイ	イロハモミジ

3 お手植え樹種（案）

【天皇陛下】



樹種名		選定理由
スギ (無花粉)		<ul style="list-style-type: none"> ○本県の林業・木材産業を支える常緑針葉樹 ○県独自の品質基準を満たす製品を「<u>媛すぎ</u>」としてブランド化 ○本県では、花粉症対策として、<u>無花粉のスギ優良品種を選抜</u>
クスノキ		<ul style="list-style-type: none"> ○県内の<u>照葉樹林を構成</u>する常緑広葉樹 ○<u>県内各地に多くの巨樹・名木</u>が残り、広く県民に親しまれている。 ○今治市(大三島町)の<u>大山祇神社では、38本が国の天然記念物</u>に指定
クヌギ		<ul style="list-style-type: none"> ○県内の<u>里山林を代表</u>する落葉広葉樹 ○1960年頃までは、薪炭材として一般家庭の暖房や炊事等に利用 ○現在でも、「<u>原木しいたけ</u>」栽培や「<u>伊予の切炭</u>」の材料に活用

【皇后陛下】



樹種名		選定理由
ヒノキ		<ul style="list-style-type: none"> ○本県の林業・木材産業を支える常緑針葉樹 ○県内人工林の約半数を占め、<u>全国トップクラスの生産量</u>を誇る ○県独自の品質基準を満たす製品を「<u>媛ひのき</u>」としてブランド化
タチバナ		<ul style="list-style-type: none"> ○伊豆半島以西の太平洋側から沖縄にかけて自生する常緑広葉樹 ○<u>柑橘王国愛媛にゆかり</u>が深く、本県では南予地方にわずかに自生 ○<u>初夏に咲く白い五弁花</u>は、文化勲章の意匠として採用
トキワ バイカツツジ		<ul style="list-style-type: none"> ○本県固有の常緑広葉樹で、4月下旬頃に<u>淡紅紫色の花</u>を咲かせる ○<u>宇和島市(津島町)にのみ自生</u>しており、極めて分布が限定的 ○県の条例により、<u>特定希少野生動植物</u>に指定

4 お手播き樹種（案）

【天皇陛下】

樹種名	選定理由
クロマツ 	<ul style="list-style-type: none"> ○海岸部の砂浜等に自生する常緑針葉樹で、<u>県木「まつ」</u>の一種 ○瀬戸内の<u>白砂青松</u>を構成し、今治市の志島ヶ原は国の名勝に指定 ○明治初期まで製塩の燃料として、昭和中頃まで菊間瓦生産に利用
ツブラジイ 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内の<u>照葉樹林</u>を代表する常緑広葉樹 ○松山城山樹叢の構成樹種であり、<u>初夏に淡黄色の花</u>を咲かせる ○樹高 25m に及ぶ大木もあり、県内複数の市で天然記念物に指定

【皇后陛下】

樹種名	選定理由
ヤブツバキ 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内の<u>照葉樹林</u>を代表する常緑広葉樹 ○冬から春にかけて咲く赤い花は、<u>開催地である松山市の花</u>に指定 ○奈良時代編纂「伊豫国風土記」に、本種の繁茂を示す碑文が記載
イロハモミジ 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内の標高 300～1300m の林内で自生する落葉広葉樹 ○日本を代表するカエデの一種で、広く県民に親しまれている。 ○<u>面河溪</u>や<u>小田深山溪谷</u>など、県内各地で<u>見事な紅葉</u>が楽しめる。

5 一般招待者植樹の樹種（案）

樹種数	樹種名
21	アカマツ、アベマキ、アラカシ、イタヤカエデ、イロハモミジ、ウバメガシ、ウラジログシ、エゴノキ、エノキ、クスノキ、クヌギ、クロマツ、ケヤキ、コナラ、スギ、スダジイ、ツブラジイ、トチノキ、ヒノキ、ヤブツバキ、ヤマモモ

【第 2 号議案】

大会テーマ（案）について

有識者による「大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会」を設置の上、全国公募により作品を募集し、審査会により大会テーマ（案）を選定した。

1 公募概要

- (1) 募集期間 令和 5 年 11 月 8 日（水）～令和 6 年 1 月 17 日（水）
- (2) 応募資格 県内外、国籍年齢を問わず応募可能
- (3) 募集内容 全国植樹祭基本構想の開催理念・大会の基本方針を踏まえ、愛媛県らしさを全国に発信する大会テーマ
- (4) 応募総数 2,072 点（県内在住：611 点、県外在住：1,461 点）



(募集チラシ)

2 審査について

(1) 大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会 委員（7名）

職名	所属機関・団体	役職	氏名
委員長	国立大学法人愛媛大学	名誉教授	千代田 憲子
委員	株式会社 E R I M A K I	代表取締役	井上 真季
	愛媛県美術館	主任学芸員	喜安 嶺
	愛媛県教育委員会事務局義務教育課	指導主事	福垣内 あゆみ
	愛媛県教育委員会事務局高校教育課	担当係長	徳森 久子
	公益財団法人愛媛の森林基金	事務局長	俊成 秀樹
	愛媛県農林水産部森林局	局長	西田 伸生

(2) 審査基準

- ① 開催理念をわかりやすく表現した作品となっていること。
- ② 言葉の響き、リズムがよく、印象に残る作品になっていること。
- ③ 愛媛県らしさを全国に発信する作品となっていること。
- ④ 自作かつ未発表（過去のコンクール等で入賞していない）ものであること。
- ⑤ 過去の大会のテーマや、その他既存の作品に類似していないこと。

(3) 審査経緯

① 一次審査

応募総数 2,072 点から 32 点を選定

② 最終審査（第 2 回専門委員会内開催）

一次審査で選定された 32 点について、協議により、入賞候補 6 作品を順位付けの上、最優秀作品（1 点）、優秀作品（3 点）、次点作品（2 点）を選定

3 審査結果

最優秀賞の作品を大会テーマとして選定

賞	作品・応募者・選定理由
最優秀賞 (大会テーマ)	<p>[作 品] 育てるけん 伊予の国から 緑の宝</p> <p>[応募者] ^{かい} 甲斐 ^{べには} 紅莓さん (愛媛県立伊予農業高等学校3年)</p> <p>[選定理由] 「育てるけん」という愛媛の優しい方言の中に「豊かな森を未来へ引き継いでいこう」という強い意志が感じられる。 また、「緑の宝」は、「森林が育む多様な恩恵」を上手く表現しており、持続可能な社会の実現や県民参加による森づくりを全国に向けて発信することとしている第76回全国植樹祭の大会テーマにふさわしい作品である。</p>
優秀賞	<p>[作 品] 伊予の国 緑がつなぐ 夢・未来</p> <p>[応募者] ^{はやかわ} 早川 ^{としあき} 俊章さん (東京都在住)</p> <p>^{てらにし} 寺西 ^{あきら} 章さん (富山県在住)</p> <p>^{にしむら} 西村 ^{よしかず} 芳和さん (滋賀県在住)</p> <p>※各個人による単独作品</p>
	<p>[作 品] 見てみんけん 愛顔で作る 緑の未来</p> <p>[応募者] ^{にしおか} 西岡 ^{なおひろ} 直優さん (愛媛県立伊予農業高等学校3年)</p>
	<p>[作 品] こだまして 愛媛の樹々が 愛顔呼ぶ</p> <p>[応募者] ^{ふるかわ} 古川 ^{あきお} 明夫さん (愛知県在住)</p>

【第3号議案】

シンボルマーク（案）について

有識者による「大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会」を設置の上、全国公募により作品を募集し、審査会によりシンボルマーク（案）を選定した。

1 公募概要

- (1) 募集期間 令和5年11月8日（水）～令和6年1月17日（水）
- (2) 応募資格 県内外、国籍年齢を問わず応募可能
- (3) 募集内容 全国植樹祭基本構想の開催理念・大会の基本方針を踏まえ、愛媛県らしさを全国に発信するシンボルマーク
- (4) 応募総数 492点（県内在住：272点、県外在住：218点、国外在住：2点）



(募集チラシ)

2 審査について

(1) 大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会 委員（7名）

職名	所属機関・団体	役職	氏名
委員長	国立大学法人愛媛大学	名誉教授	千代田 憲子
委員	株式会社ERIMAKI	代表取締役	井上 真季
	愛媛県美術館	主任学芸員	喜安 嶺
	愛媛県教育委員会事務局義務教育課	指導主事	福垣内 あゆみ
	愛媛県教育委員会事務局高校教育課	担当係長	徳森 久子
	公益財団法人愛媛の森林基金	事務局長	俊成 秀樹
	愛媛県農林水産部森林局	局長	西田 伸生

(2) 審査基準

- ① 親しみがもてるような、魅力的なデザインであること。
- ② 大会の開催理念を踏まえたデザインであること。
- ③ 啓発物品等に活用しやすいデザインであること。
- ④ 愛媛県らしさを感じさせるデザインであること。
- ⑤ 過去の大会の作品やその他既存の作品に類似していないこと。

(3) 審査経緯

① 一次審査


応募総数 492点から 50点を選定

② 最終審査（第2回専門委員会内開催）

一次審査で選定された 50点について、協議により、入賞候補 6作品を順位付けの上、最優秀作品（1点）、優秀作品（3点）、次点作品（2点）を選定

3 審査結果

最優秀賞作品（1点）

作品・応募者	選定理由
<p>たにもと やすのり 谷本 康則さん（大阪府在住）</p> 	<p>愛媛県の豊かな森、海、段々畑、しまなみ海道が、みかんのシルエットとして一つにまとめられており、森林がもたらす多様な恵みと愛媛県の魅力を上手く表している。</p> <p>また、「豊かな森林を未来に引き継ごう！」と呼びかけているような、みきゃんの意志も感じられ、第76回全国植樹祭のシンボルマークにふさわしい作品である。</p>

優秀賞作品（3点）

<p>きたむら ゆり 北村 友莉さん （千葉県在住）</p> 	<p>ごとう ゆか 後藤 由佳さん （愛媛県立内子高等学校2年）</p> 	<p>たなべ のぞみ 田辺 望さん （香川県在住）</p> 
--	---	---

【第4号議案】

令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

1 令和6年度事業計画（案）

(1) 会議の開催

① 総会（3回）

○第3回総会：令和6年7月頃

基本計画（中間案）について、令和5年度事業報告（案）及び収支決算（案）、経過報告（専門委員会、広報、関連事業等）等

○第4回総会：令和7年1月頃

基本計画（最終案）について、令和6年度取組状況の報告

○第5回総会（書面開催）：令和7年3月頃

令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

② 幹事会

○第2回幹事会：令和6年6月頃

○第3回幹事会：令和6年12月頃

○第4回幹事会（書面開催）：令和7年3月頃

③ 専門委員会（4部門、8回）

基本計画に記載する事項のうち、専門的知見を必要とする事項について、調査・審議するため専門委員会を設置する。

ア 大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会（2回）【**継続**】

議 事 ・大会ポスター原画の募集及び選定に関すること。

イ 式典専門委員会（2回）【**継続**】

議 事 ・式典行事に係る演出・内容等の検討に関すること。

ウ 森林資源循環・木材利用専門委員会（2回）【**新規**】

議 事 ・植樹会場整備に係る森林資源の循環利用に関すること。
・式典会場整備、記念事業等に係る木材利用に関すること。

エ 愛顔のえひめ魅力発信専門委員会（2回）【**新規**】

議 事 ・式典会場における「おもてなし広場」の企画に関すること。
・愛媛のゼロカーボン・魅力発信等に関すること。

第5号議案で審議

(2) 基本計画の検討

令和5年度に引き続き、全国植樹祭の基本的事項（開催概要、式典演出等の構想、会場整備計画等）を定める基本計画を検討する。

第3回総会で基本計画（中間案）を、第4回総会で基本計画（最終案）を決定したのち、令和7年2月頃、国土緑化推進機構特別委員会で基本計画を承認いただく予定

(3) 会場整備

① 式典会場整備に係る基本設計

式典行事や天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き行事を実施する式典会場整備に係る基本設計を行う。

② 植樹会場整備に係る調査・測量設計

県内外の招待者が記念植樹を行う植樹会場の選定や調査・測量設計を行う。

③ お野立所の設計

式典会場で天皇皇后両陛下が着座される「お野立所」に係るデザインの検討や設計を行う。

(4) 機運醸成活動

① 苗木のスクールステイの実施

全国植樹祭や関連行事等で使用する苗木を、県内の緑の少年団や小中学校等で育ていただくことで、森林や身近な緑の大切さについて、子供たちをはじめとする多くの皆さんに知っていただくとともに、全国植樹祭の開催機運を高めることを目的とする。

② 関連イベント等の実施

第76回全国植樹祭の開催理念や森林づくり、木材利用の必要性等について広く啓発し、県民全体で森林・みどりを次の世代に引き継いでいく機運を高めるイベント等を実施する。

【第2回こどもの森づくりフォーラム in えひめ】

全国植樹祭の開催を契機に、保育所・幼稚園等における幼児期からみどりに親しむための取組の普及、促進等を図るため、林野庁や公益社団法人国土緑化推進機構等と共同して、保育・幼児教育関係者等を対象にフォーラムを実施する。

(フォーラム)

- 時 期 令和6年12月1日（日）
- 場 所 松山市民会館 中ホール
- 内 容 基調講演、事例発表、パネルディスカッション 等

(サイドイベント)

- 時 期 令和6年11月30日（土）
- 場 所 えひめ森林公園、えひめこどもの城 等
- 内 容 森林体験講座、木育体験講座 等

③ 企業等による協賛

企業や団体、個人等を対象に、全国植樹祭の開催に対する協賛や寄附を募り、資金や物資等により大会運営に御協力いただくことで、多様な主体の参画による全国植樹祭を目指す。(令和6年秋頃、協賛募集開始予定)

④ 広報活動の実施

県ホームページや広報誌、ラジオなど様々な媒体を通じて取組を情報発信するとともに、のぼり旗やチラシなどの広報啓発品を制作し、各種イベント等を通じてPRする。

2 令和6年度収支予算(案)

(1) 収入の部

(単位：千円)

科目	R6年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
1 負担金	42,267	13,118	29,149	愛媛県負担金
2 雑収入	0	0	0	
3 協賛金	0	0	0	
4 繰越金	1,212	0	1,212	
合計	43,479	13,118	30,361	

(2) 支出の部

(単位：千円)

科目	R6年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
1 総務費	2,728	2,545	183	実行委員会、幹事会、各種専門委員会の開催に係る経費
2 開催事業費	22,536	6,145	16,391	基本計画・実施計画の作成委託、会場整備に係る測量設計委託等
3 広報啓発費	18,215	4,428	13,787	苗木のスクールステイ、公式ホームページ等による広報啓発活動等
合計	43,479	13,118	30,361	

【第 5 号議案】

専門委員会の設置及び付託事項（案）について

第 76 回全国植樹祭愛媛県実行委員会会則第 13 条に基づき、下記のとおり専門委員会を設置し、下記の事項を付託する。

記

専門委員会名	摘要
森林資源循環・木材利用専門委員会	<ul style="list-style-type: none">・植樹会場整備に係る森林資源の循環利用に関する事。・式典会場整備、記念事業等に係る木材利用に関する事。
愛顔のえひめ魅力発信専門委員会	<ul style="list-style-type: none">・式典会場における「おもてなし広場」に関する事。・愛媛のゼロカーボン・魅力発信等に関する事。

第 76 回全国植樹祭愛媛県実行委員会（総会）の開催スケジュールについて

実行委員会（総会）の開催スケジュール（案）

会議日程	会議内容（報告、審議、決定事項等）
【第 1 回総会】 （設立総会） 令和 5 年 8 月 25 日	1 実行委員会の設立について 2 令和 5 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3 専門委員会の設置及び付託事項（案）について
【第 2 回総会】 令和 6 年 3 月 19 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 6 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3 専門委員会の設置及び付託事項（案）について 4 基本計画（素案）について
【第 3 回総会】 令和 6 年 7 月頃	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 5 年度事業報告（案）及び収支決算（案）について 3 基本計画（中間案）について
【第 4 回総会】 令和 7 年 1 月頃	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 基本計画（最終案）について ⇒令和 7 年 2 月頃の国土緑化推進機構特別委員会で 基本計画の承認・決定
【第 5 回総会】 令和 7 年 3 月頃 （書面開催）	1 令和 7 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
【第 6 回総会】 令和 7 年 6 月頃	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 6 年度事業報告（案）及び収支決算（案）について 3 実施計画（素案）について
【第 7 回総会】 令和 8 年 1 月頃	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 実施計画（最終案）について ⇒令和 8 年 2 月頃の国土緑化推進機構特別委員会で 実施計画の承認・決定
【第 8 回総会】 令和 8 年 3 月頃 （書面開催）	1 令和 8 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
令和 8 年春季	第 76 回全国植樹祭 愛媛県開催
【第 9 回総会】 令和 9 年 3 月頃	1 令和 7 年度事業報告（案）及び収支決算（案）について 2 令和 8 年度事業報告（案）及び収支決算（案）について 3 実行委員会の解散について